

特集 その後どのように暮らしていますか？

## ふたりの暮らしを楽しむ家





玄関を上がるとすぐのところにある吹抜けの廊下

atrium

特集 その後どのように暮らしていますか？

## ふたりの暮らしを楽しむ家

東京都小金井市 | S 邸(ご夫婦2人) 木造2階建て+アパート



### 1 家づくりのきっかけは？

今回取材させていただいたのは、住みはじめてから9年ほど経つS様の暮らし。

駅から歩いてほどなくすると坂道があります。その坂道を下っていく途中にS様のお住まいはありました。目の前にはお寺もあり、家の周りには緑がたっぷりの気持ちの良い立地。「おじゃまします」とドアをあけると、S様ご夫婦が素敵な笑顔で迎えてくださいました。さて、以前は都心のマンションに住んでいたというS様。

子どもが生まれたことがキッカケで今の場所に引っ越してきました。当時は空家だったこのお住まい。ご夫婦ともに設計のお仕事をしていたこともあり、子どもの成長にあわせて2階部分や個室を増やすなど、何度か増改築をしながら暮らしていました。

月日は経ち、子ども達も家から独立。ご夫婦2人で暮らすには使わなくなった部屋もでてきました。そこで、建て替えを考え始めたお2人。「せっかくなら自分たちのペースで丁寧に暮らせる家にしましょう。」

S様の家づくりがスタートしました。



living room

新築時に購入したテーブル。横の長さを調節できるので、大人数でパーティーも楽しめます。窓際のカウンターと同じ高さなので、くっつけて使うこともできます。



wood deck



kitchen

corridor

家の前の通り沿いを歩いている人々や四季の変化を窓から眺められるリビング。

子どもや孫、よく遊びに来る友人たちとお料理を楽しめるようにと対面キッチンに。

前の家にあった本棚が収まるよう設計した廊下。昔からある家具も大切にされています。

## 2 家づくりエピソード



相羽建設との出会いは、OMソーラーの家を建てている工務店をさがしていた時。近くで開催していた見学会に寄ったことがキッカケでした。「テニス倶楽部の帰りに見学会に寄って見たら橋本さん（現在の社長）がいて、案内してもらったんです。息子と同年ほどで親近感もありつつ、話していてと

ても信頼できる方でした。」と奥さま。さっそくプランの打ち合わせがはじまりました。「設計は仕事でやってきたけれど、自宅の設計を考えるのは初めてでした。そこで一番大事にしたことは、単に良い家・キレイな家ではなく「ふたりの家」をつくることでした。」とご主人。一般的な見た目のキレイさや使

い勝手の良さももちろんだけれど、この家に住む2人に寄り添った家づくりがコンセプト。とても素敵な考えです。そのコンセプトをもとに暮らしのテーマとして『アトリエスペース』『みんなで楽しめるキッチン』『植栽』『生活道具は必要な分だけ』などを加えて家づくりがすすんでいきました。

### 3 ふたりのアトリエ

S様が家づくりの中でこだわった部分のひとつ。昔からものづくりが大好きだったというお2人は、家の中にそれぞれのアトリエをつくりました。1階は陶芸スペース。料理をつくるのがお好きな奥さまが「せっかく盛り付けるなら…」と器もつくりはじめたことがキッカケでした。自宅に

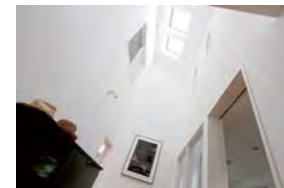
電気窯もあるほど本格的！ 食器棚にあるうち8～9割は奥さまのつくった作品です。2階はご主人の版画スペース。展示会の主催のお仕事もしつつ、ご自分でも作品づくりをされています。ちょうどこの取材の1週間後に美術館での展示を控えているとのことでした。お2人のキラキラと楽しく活動されている様子がとても素敵です。



a,c,d…奥さまの陶芸スペースと美濃焼作品 / b,e,f…ご主人の版画スペースと木版画作品

### 4

#### 吹抜けの 空間と渡り廊下



天窓から差し込む明るい光、ガラス越しのアトリエスペース、上には渡り廊下も…！ここはヨーロッパの街並みをテーマにした、ご主人こだわりのスペース。渡り廊下は建物をつなぐブリッジ、内側の壁にとりつけた窓は建物の外側を眺めているようなイメージでつくられました。家の中にいながら、街中を歩いているような不思議な空間です。



### 5 小さな森のようなお庭

植物を造園屋さんを選びに行ったというほど植栽が大好きなS様ご夫婦。家の植栽デザインは奥さまによるもの。「自分たちの意志をもってつくるのはとても楽しい」と奥さま。丁寧に手入れされたお庭は、シンボルツリーの『ハナミズキ』を中心に、まるで小さな森が広がっているようでした。



#### 取材後記



今は小さなことに幸せを感じながら、自分のやりたいことや、ひとつひとつのことを丁寧にじっくりと手をかけて過ぎていきたいというS様。これからの日々は「人生の神様がくれた贈り物だと思っています」と笑顔でお話してくださいました。「今度はリビングのテーブルを丸型にしたいなあ」「あとソファも新しく赤い色に変えてみようかと思っているよ」とご夫婦の楽しそうな会話に心温まった取材でした。今後のS様の暮らしぶりも楽しみです。



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました！」

取材：伊藤 / 吉川 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>

ainoha 2015\*july-07



特集 その後どのように暮らしていますか？

「思い出」を新しい家へ

特集 その後どのように暮らしていますか？

## 「思い出」を新しい家へ

東京都世田谷区 | S 邸 (奥様+子ども1人) 木造2階建て+アパート

### 1 家づくりストーリー

良く晴れた8月の朝、お庭に緑の植栽がきれいに生い茂るおうちを訪ねました。こちらは建て替えてから1年ほど経つS様の住まい。以前は大きな家に9人という大家族で暮

らしていました。そのうち子どもたちも独立。広い家に奥様だけで暮らすにはお掃除やメンテナンスなどの維持も一苦労。「せっかく住み続けるのだから、きちんとお手入れしながらコンパクトに暮らせる家に」そんな思いから、S様の新たな家づくりがはじまりました。

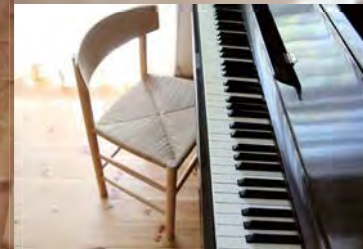




living room



kitchen



1階はリビング・ダイニング・キッチンのワンフロア。

## 2 「思い出」を新しい家へ



S様の以前の家

S様が設計をお願いしたのは昔からの付き合いがあるという"三日月デザインオフィス"さん。「親子3代の付き合いで、以前は家具をつくってもらったこともありました。今座っている家具もその一つなんですよ」と笑顔で語るS様。もう30年以上は使っているそう。他にも以前の家にあったステン

ドグラスやお母様の鎌倉彫の作品、娘さんが描いた絵画など、思い出の品も新しい家に大切に取入れられていました。「素敵なものと生活上必要なものだけ選んで、残りは寄付したり友人に譲ったりしました。選ぶのはとても大変だったけれど、コンパクトになった分、快適に暮らせるようになっ

てお掃除も楽ですよ」とS様。家にある小物や植物、一つひとつに物語があって話は尽きません。建て替えてからまだ一年なのにどこか落ち着くこの家は、つながりや昔からのものを大事に想うS様の暮らしぶりが反映されているようでした。





外壁や扉、ポストは統一感のある緑色。



造園デザイン: GREEN 清水さん

### 3 グリーンのお庭



S様が家づくりの中で一番最初に考えたのは、ずっと大事にしてきたお庭でした。新しい木は数本しかなく、ほとんどが以前の家にあった木を植え直したものです。玄関前の大きな桃の木は、春になると赤と白の可愛らしい花を咲かせます。柵や塀などをつくらずまちに開けたお庭なので、通りがかりの人に「素敵なおうちですね」と言われることも増えたそうです。「毎朝の水やりがとても楽しみなんです」とS様。

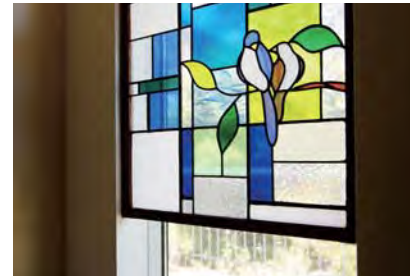
### 4 2階和室



「和室があると落ち着く」というS様の希望で2階に設けた床の間。掛け軸を季節ごとにかえて楽しんでいます。



2階は書斎コーナー、寝室とつながっています。



### 5 大切なもの

家のいたるところにある、お母様の鎌倉彫の作品。きれいな漆塗り!お香を入れる小さなものから文箱や茶器入れまで、今でもS様が大切に使い続けています。これらの工芸品が、おうちのステキなアクセントになっています。

#### 取材後記

取材中に「この前、工事部の渡邊さんに新しく本棚をつくってもらったんです。本の大きさを測って頂いたので、ピッタリ収まりましたよ」と笑顔でお話して下さいましたS様。家が建ったあとにも相羽建設とのつながりを大切にしているのだなあと私も嬉しい気持ちでいっぱいになったのでした。(文:広報 吉川)



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」

取材:伊藤・松本・吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>





— リフォーム特集 —  
その後、どのように暮らしていますか？

## 「ちょうどいい」リフォーム

ー リフォーム特集 ー

その後、どのように暮らしていますか？

## 「ちょうどいい」リフォーム

2世帯で暮らすため、2階のお部屋をリフォームしたMさまのおうちを訪れました。

「こんにちは〜!」とおじゃませていただくと、フワっと美味しそうな香りが……!

良い香りの正体はお母さまの手作りパンでした。Mさまのおうちは、1階が小さなパン屋さん。「子ども達が安心して食べられるものをつくりたくてね」と、お母さま。つくっているのは天然酵母・国産小麦を使った無添加のパンだそうです。優しい風味はお客さんに大人気!(スタッフも美味しくいただきました♪)取材中も続々とお客さんがいらっやいました。

「確かな素材で、しっかりとしたものを」という想いがあったMさまは、自然素材を使った相羽建設のリフォームにも共通するものを感じてくださったとのこと。とても嬉しいお話です。

さて、次のページではいよいよリフォームしたMさまの暮らしぶりをご紹介いたします。

1階はおいしい  
パン屋さん

東久留米のパン屋さん「プチ・フル」

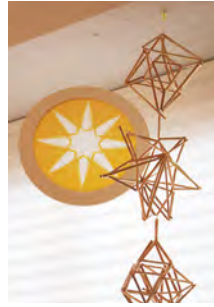


惣菜パンや菓子パンなど、種類はいろいろ。パン生地だけでなく、中身のクリーム、カレー、ジャム、あんこなどの具も全て自家製です。お母さま手作りの「柳久保小麦」の葉を使った「ヒンメリ」の作品も素敵!



## 「ちょうどいい」

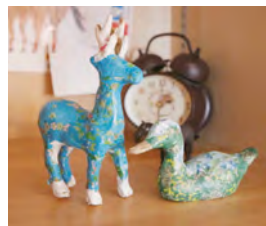
「コンパクトで居心地が良くて落ちつきます♪」と、にこにこ笑顔のMさま。  
2階のリビングは、すっぽりと包まれているような安心感がありました。  
広すぎず、狭すぎずで自分の身体にぴったりとフィットするような『ちょうどいい』広さ。お部屋の小物がシンプルにまとまっている感じも可愛い！



動物が大好きなお姉ちゃんの作品。本棚にも動物に関する本がたくさん!!→

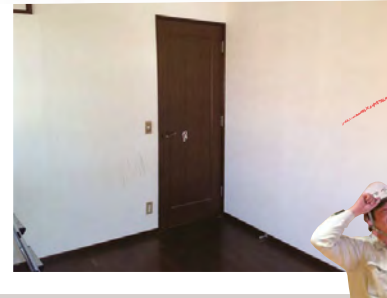
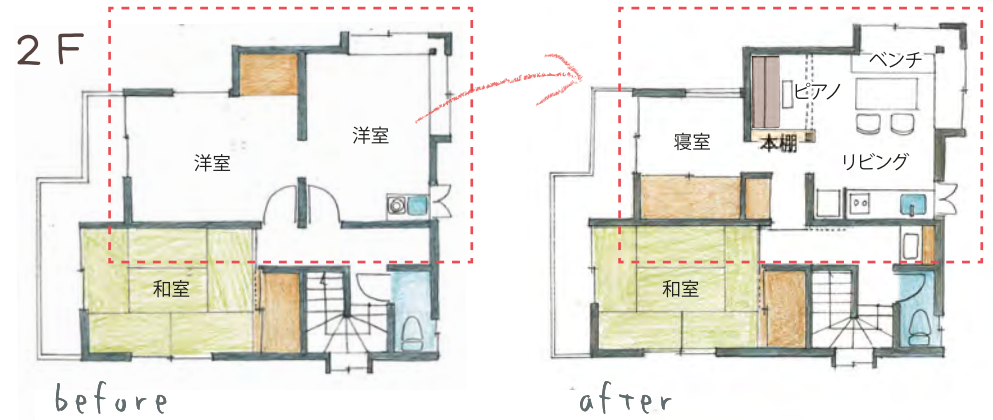
## 「シンプルで、子どもたちが楽しく遊ぶお部屋を！」

Mさまのリフォーム時のリクエストです！ピアノがすっぽり収まるようなスペースだったり、本が大好きな子ども達のための、造作本棚など。「担当の佐々木さんが一生懸命プランを考えてくれたんです。丁寧につくってくれた職人さんたちにも感謝です！」と嬉しそうにお話されるMさま。子どもたちも、お部屋に飾ってある作品や、本棚のお気に入りの動物図鑑や絵本を楽しそうに紹介してくれました。



## Before and After

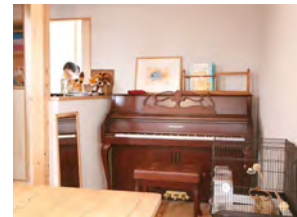
もともと洋室2部屋だったところが、リフォームで寝室とリビング&キッチンになりました。



柱を取る代わりに、梁で補強しました。  
担当:佐々木



## 【新しくつくったところ】



1. ピアノがぴったり納まるスペース



2. 本が大好きな子ども達のための本棚



3. たくさん収納できるダイニングベンチのための本棚

### リフォームエピソード

Mさまは当初、南側が寝室・北側がリビングという間取りに「南側が寝室はちょっともったいないかな？」と思っていたそうです。「でも完成したお部屋を見たらすごく素敵でした!間取りはプロならではの考えだったのだなあと驚きました」とMさま。住みながらのリフォームについても「毎日お部屋が変わっていく様子を、みんなで見られて楽しかったです!」と嬉しいお言葉を頂きました。







## 街とつながる二世帯住宅

『本をどこにしまう?』

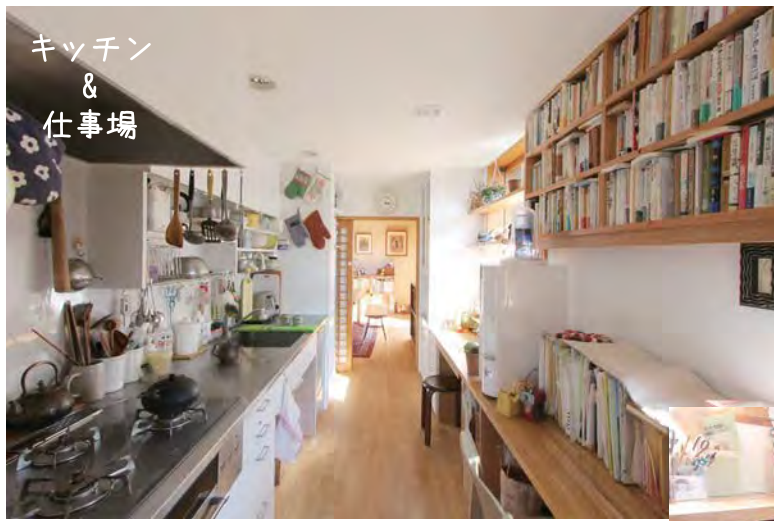
研究者であるお父さまの大量の本の収納を考え、建て替えの計画が始まったHさまのお家。そこで「OMソーラーの乾燥を利用した地下室ならばたくさんの本を収納できる」ということから、家づくりが始まりました。

Hさまのお家へ取材に何うと、たくさんの見どころポイントを教えていただきました。その中でも印象に残ったのは、「この辺りには雨宿りできる場所がないの。だから誰でも雨宿りしていてもらいたくて」と、家の前の軒を長くしたり、一休みできるベンチがあったこと!家の中だけじゃなく、街の人へも優しくつながっているのがすごく素敵だなあと心が温まりました。

誰でも自由に休めるベンチ



設計:越阪部幸子  
工房おさかべ



キッチン  
&  
仕事場

それぞれの部屋の  
暮らしの工夫

このお道具箱が  
とっても便利なの!



机の下には必要なものをすぐ  
出し入れできる「お道具箱」。



2階  
リビング



腰かけられるバルコニーで  
まったり。

かぼちゃやお豆がこげないお家

家づくりのときにお母さまが提案した可愛らしいリクエスト。キッチンと仕事机が向い合せになっているので、仕事に集中しつつ料理にも目を配れるという、女性にとってはかなり便利で嬉しいスペース。

キッチンとつながる2階リビング

家事や子育て中の奥さまには嬉しい、壁の開口から奥の和室まで見通せるキッチンカウンター。「子どもが乳幼児の頃は、和室で寝かせていても様子がわかるから安心!」と奥さま。

スムーズなおでかけ準備

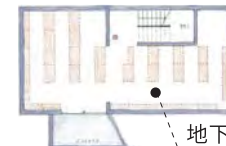
キッチンスペースからは、なんと玄関の土間に直通していました!作業をしても、すぐにでかけられて、お母さまイチオシのスペースだそうです。



1階



2階



地下



窓枠の上には可愛い木の動物たち。



お気に入りのカウンターから庭を眺められます! 小鳥もよく砂浴びをしに来るみたいです。



地下

まるで図書館!

国文学研究者のお父さまの大量の本は地下室へ。最近のものから小学校の頃のノートやおもちゃも大事にここに保管されていました。お父さまお気に入りの場所。